作成者:高崎　千愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
化粧品学Ⅱ		ビューティー総合学科/2年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	高崎　千愛

授　業　の　概　要

エステティシャンは化粧品を用いて施術を行い、美容部員・ネイリストは化粧品等を販売することから、必要な知識を学修する

到達目標

・化粧品表示を見て、どのような化粧品かを見分けることが出来る
・サプリメントと薬の違いについて理解できる
・化粧品のルールについて理解できる
・化粧品の官能評価が出来る

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、10年間サロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1	化粧品の歴史	世界と日本における化粧品歴史を習得する
2	化粧品の原料について①	水溶性成分・油性成分・界面活性剤・増粘剤・ｐＨ調整剤の目的と成分構成を理解する
3	化粧品の原料について②	酸化防止剤・防腐剤着色剤の目的と成分構成を理解する
4	スキンケア化粧品①	構成成分・クレンジングの種類・洗顔の種類を理解する
5	スキンケア化粧品②	石鹸・化粧水・ジェル・美容液・スペシャルケアを理解する
6	男性肌の特徴①	構造・皮脂分泌・男性化粧品の違いを理解する 最新男性化粧品メーカー、特徴を調べてまとめる
7	メンズコスメ	メンズコスメのオススメプレゼン POP作成
8	小テストと解説	上記内容に関しての確認テスト 理解を確認し、正しい知識として使えるようにする
9	メイクアップ化粧品の原料	粉体・ＵＶケア・下地・ファンデーション・新顔ベースメイク・フェイスパウダーの各種類と特性を理解する
10	ボディ化粧品について	洗浄料・防臭化粧品・脱毛料・入浴料・シェイプアップ料について理解する
11	毛髪と頭皮の構造と機能	皮膚断面からもた毛の構造、毛髪の断面、それぞれの構造を理解する、毛周期を理解する
12	毛髪の変化とトラブル	毛髪のトラブルの原因とケア方法を理解する

13	ヘアケア化粧品について （シャンプー・リンス・コンディショナー）	ヘアケア商品の化粧品成分と目的を理解する おもな界面活性剤の特性を理解する
14	ヘアケア化粧品について （育毛料・ヘアスタイリング料・カラーリング料）	ヘアケア商品の化粧品成分と特徴・目的を理解する
15	ネイルの構造について	爪の病気トラブルの理解・ネイル化粧品成分の理解

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
日本化粧品検定１級対策テキスト 日本化粧品検定１級対策問題集	期末試験 授業態度・持物	80.0% 20.0%	各講義でのノートと問題集を使用し復習を行う

作成者:高崎　千愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
化粧品学Ⅱ		ビューティー総合学科/2年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	高崎　千愛

授　業　の　概　要

エステティシャンは化粧品を用いて施術を行い、美容部員・ネイリストは化粧品等を販売することから、必要な知識を学修する

授業終了時の到達目標

・化粧品表示を見て、どのような化粧品かを見分けることが出来る
・サプリメントと薬の違いについて理解できる
・化粧品のルールについて理解できる
・化粧品の官能評価が出来る

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、10年間サロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1	嗅覚のしくみと香りの特徴	香りを感じる仕組み・香料の分類・天然香料、精油の効果
2	精油の利用法	動物性香料・合成香料・香りの変化・香水の使い方と注意点
3	香水について	香りの継続時間の目安・香水の分類と特徴・香水の副分類
4	口腔と歯の構造	構造・歯と口腔周りのトラブル オーラルケア・歯が白くなるメカニズムについて
5	サプリメントの基礎知識	薬との違い・食品での区分・おすすめの栄養成分・効果的な摂取タイミングの理解
6	小テストと解説	上記内容に関しての確認テスト 理解を確認し、正しい知識として使えるようにする
7	化粧品と医薬品医療機器等法	化粧品の定義・効果効能の範囲・広告、ＰＲのためのルール・表示順・安全使用法・化粧品トラブルを防ぐための知識を理解する
8	安全性を守るためのルール	求められる品質・安全に使用するための知識を取得し、製造に関する法規を理解する
9	化粧品の広告やPRのためのルール	表現や文言の細かいルールを理解する オーガニック化粧品の基準の理解
１０	化粧品のトラブル	かぶれる状態を理解し対応策を習得する
１１	化粧品成分①	使用化粧品の成分調べを通し、特性と合わせた理解が出来る
１２	化粧品成分②	成分表記を読み取り、特性を見出すことが出来る

１３	化粧品の官能評価	必要な感覚とその対象を理解し官能評価を学修する
１４	お気に入り化粧品のプレゼンテーション	化粧品成分を理解し、特性と官能的評価をプレゼンテーションを通して発表し知識の幅を広げる
１５	総まとめ	練習問題を実施し修得を確認する

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
日本化粧品検定１級対策テキスト 日本化粧品検定１級対策問題集	期末試験 授業態度・持物	80.0% 20.0%	各講義でのノートと小テストでの復習

作成者:今井　美穂

科　目　名	学科／学年	年度／時期	授業形態
アロマ学	ビューティー総合学科/2年	2025/前期	講義

授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	今井　美穂

授　業　の　概　要

アロマテラピーの目的を知り、正しい知識を学修し、学生サロンでの接客やサービスに活かせること、アロマ学の教育を通じて香り以外の触覚や視覚などの五感を養うこと、地域資源の魅力を知り、活用し、サステナブルを学べる環境を整えることで、地域と教育をつなぎ、循環する仕組みを体得する。

授業終了時の到達目標

・学生サロン(AER)でヘルス＆ビューティーケアにアロマテラピーを活用しお客様に還元できる。
・精油の効果・効能をお客様に説明できる。
・アロマテラピー検定1級習得(11月)。
・社会潮流としてSDG'Sを社会・環境・経済問題解決、ビジネスチャンスとして捉えることができる。

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、11年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

アロマテラピー検定公式問題集で予習と復習を各時間ごとに行う

1	オリエンテーション／ アロマテラピーの起源と基礎知識	金沢美専のアロマ学プログラム概要説明(検定) CP①：アロマテラピーとは(歴史・精油・効果・禁忌)
2	CP②：精油の基本	精油の作用、抽出法、選び方、香りの試し方 精油と環境の関係性
3	フィールドワーク事前ガイダンス 白山手取川ジオパーク入門	人と地域の自然資源(山森水海)、ヒト・エコ・ジオ、 SDG'S 17の目標、ジオパークの目的とアロマ授業とAER
4～7	白山麓でのフィールドワーク 植物採取と蒸留体験	白山ミントレイノにて課外授業・採取した植物を蒸留する 精油抽出と副産物・マッサージオイル作り・ハーブティー
8	フィールドワークのまとめ／ CP③：アロマテラピーの安全性	前回授業の振り返り(授業が３W後になるため) 精油を安全に使用するための心得
9	CP④：アロマテラピー利用法 アロマクラフト	素材・用具について／芳香浴、沐浴、吸入、湿布等 アロマスプレー作り
10	CP⑤：アロマテラピーのメカニズム	心身に伝わる仕組み、嗅覚器から脳に伝わる経路 皮膚の浸透から伝わる経路
11	CP⑥：ビューティー＆ヘルスケア AERでのアドバイス活用	睡眠、ストレス、女性ホルモン、スキンケア 様々なお悩みに対する知識とケアアドバイス
12	CP⑦：アロマテラピーの歴史	古代、中世、近世～近代、現代の歴史年表
13	CP⑧：アロマに関する法律	薬機法、製造物責任法、景品表示法、消防法、あはき法 医師法、獣医師法　各行為に関する法律を知る
14	検定対策①　精油のプロフィール (期末試験対策①)	抽出部位、抽出方法別にグループ分け／ 香りの特徴を覚える
15	検定対策②　精油のプロフィール (期末試験対策②)	精油の禁忌まとめ 問題集解答

教科書・教材		評価率	その他
アロマテラピー検定公式テキスト　（公益社団法人　日本アロマ環境協会）　アロマテラピー検定公式問題集　（公益社団法人	期末テスト (検定問題集より抜粋)	100.0%	

ヒ　検定会式問題集　（公益社団法人 日本アロマ環境協会）			

作成者:高崎　千愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティ実習Ⅱ (エステ美容学)		ビューティー総合学科/2年 エステ専攻	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60単位時間)	必須	川尻　諭生

授　業　の　概　要

エステティシャンとしての脱毛理論を修得する
サロン実務において脱毛カウンセリングやメニューのご提案時に必要な知識となる

授業終了時の到達目標

・光脱毛理論を理解し、正しい技術提供が出来る
・一般財団法人日本エステティック工業会認定「美容ライト脱毛安全講習会」合格を目指す
・脱毛カウンセリングが出来るようになる

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、24年間サロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～2	エステティック概論	世界のエステ・エステティックの意義と心得・ソワンエステティック・ウエルネスについての復習と理解の深堀
3～4	フェイシャル実技理論	各化粧品選定・フェイシャル機器・お手入れ効果・禁忌・カウンセリングについての復習と理解の深堀
5～6	ボディ実技理論・ワックス脱毛実技理論	目的・手技・禁忌・ボディ機器・ホームケア・トラブルについての復習と理解の深堀
7～8	美容ライト美容脱毛機器脱毛原理	光の理解（自然光・電磁波・波長とスペクトル・紫外線・レーザー・フラッシュライト）
9～10	美容ライト美容脱毛機器脱毛原理	レーザーライトのメカニズムの理解（光と生体・レーザー脱毛・ライト脱毛）
11～12	美容ライト美容脱毛機器脱毛原理	出力と作用の理解（光の単位と測定・パルスとエネルギー・安全基準と管理・劣化と耐久性）
13～14	美容ライト脱毛実技理論	トリートメントヘッドの種類の理解（種類・扱いの注意） （ジェル使用タイプ・ジェル使用しないタイプ）
15～16	美容ライト脱毛実技理論	皮膚との毛の観察および禁忌事項の理解（皮膚の色調・太さと色素量・トリートメントの禁忌事項）
17～18	美容ライト脱毛実技理論	ライト脱毛の手順の理解（ホームケア含む） 基本照射テクニックの理解
19～20	美容ライト脱毛について	発毛の仕組みと毛周期の理解・美容レーザーライト脱毛の原理
21～22	有効性と安全性の両立	テスト照射・適正出力・皮膚冷却と鎮静の理解
23～24	予測される副反応 安全性	トリートメント後の副反応の理解 定期点検・使用環境と安全確保・衛生管理の理解

25～26	脱毛カウンセリング	契約内容・予測される仕上がり・トリートメント後の状態・注意事項・トラブル対応の理解
27～28	脱毛カウンセリング実践	相モデルにて、脱毛ビフォーカウンセリング・アフターカウンセリングを実践し理解を深める
29～30	脱毛理論まとめ	各回の重要点を捉えながら振り返りと確認を行い、実技と連動した知識修得に繋げる

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
エステティシャンのための美容ライト脱毛実技理論テキスト エステティシャンセンター試験筆記試験例題集	期末試験 提出物	80.0% 20.0%	講義ノートを使用し復習する 例題集を繰り返し行う

作成者:高崎　千愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティ実習Ⅱ (エステ美容学)		ビューティー総合学科/2年 エステ専攻	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60単位時間)	必須	川尻　諭生

授　業　の　概　要

サロン実務においてカウンセリングやメニューのご提案時に必要な知識となる
また、正しい知識があることで施術トラブル防止、契約トラブル防止に繋がる
知識修得の証として、一般財団法人日本エステティック試験センター「エステティシャンセンター試験」、ICAMJYAPAN「アドバンストレベル２ビューティシャン」合格を目指す

授業終了時の到達目標

・エステティック技術（ボディ・フェイシャル・機器）、契約法、衛生法、関連法規を理解し、
正しいサロンワークが実践できるようになる。

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、24年間サロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～2	エステティック関連法規①	施術・商品販売・カウンセリングに関する関連法規を理解する
3～4	エステティック関連法規②	運営・契約に関する関連法規を理解する
5～6	皮膚科学	肌トラブルを説明できる皮膚科学を学修する
7～8	解剖生理学①	骨・筋肉・消化器・循環器について1年次美容学の応用と理解を深める
9～10	解剖生理学②	呼吸器・内分泌・感覚器・神経について1年次美容学の応用と理解を深める
11～12	心身生理学とホメオスタシス	生命活動におけるホメオスタシスに関わる神経系・免疫系・内分泌系について学修する
13～14	運動生理学	サロン実務で生活習慣やダイエットのホームケアアドバイスに役立てる知識修得となる
15～16	栄養学	サロン実務で生活習慣やダイエットの栄養アドバイスに役立てる知識修得となる
17～18	電気学・機器学	エステティック機器の目的と禁忌を修得し肌別フェイシャルの機器選定が正しく行える
19～20	衛生管理	サロンで行う衛生管理について理解を深める
21～22	サロンでの救急法	サロンで急病患者に対する知識を修得する
23～24	エステティックカウンセリング	カウンセリングの基礎を理解しお客様の悩みや相談に応じれるようになる

25～26	サロンマネジメント	ESとCSについて理解しクレーム対応・接客マナー・経営方針についてを学修する
27～28	業界統一自主基準	遵守項目について理解する
29～30	実技理論の復習	フェイシャル・ボディ・ワックス脱毛の実技理論における重点項目について理解する

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
・エステティシャンセンター試験筆記試験例題集 ・一般社団法人ICAM推進機構「ベーシックエステティック学」	期末試験 エステティシャン試験センター ICAM検定合格	50.0% 25.0% 25.0%	エステティシャンセンター試験筆記対策例題集を繰り返し行う

作成者:米澤　愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティ実習Ⅱ （メイク実習Ⅱ）		ビューティー総合学科/2年 エステ専攻	2025/前期	実習
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60単位時間)	必須	池田　百合

授　業　の　概　要

肌質、骨格、顔パーツ、全体バランスを踏まえ、TPO・テーマに合わせたメイク表現を学修し、エステティックにおいて様々なお客様のメイク要望にお応えできる技術、接客の修得を目指す。

授業終了時の到達目標

・スキンタイプ別の状態把握と改善法の提案、対応が出来る。
・1年次のメイク基礎をベースに、イメージメイクアップ、TPOに合わせたメイクアップが出来る。
・アヴァンセライセンス（テーマ4パターン）、ICAMトータルビューティシャン部門（4パターンドレス）に合わせたメイクアップが出来る。

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして2年間サロン実務に従事する

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～2	パーソナルスキンケア	肌質による水分と皮脂のバランスを把握し、メイクアップ前の肌のコンディションを整えるためのテクニックを修得する。
3～4	修整メイク（目元、眉、口元）	パーツごとの修整方法の修得と実践。
5～6	メイクアップの質感	質感の主な種類と特徴を理解し、質感による仕上がりのイメージの違いについての説明とメイクが出来るよう学修する。
7～8	メイクアップとライティング	光源の分類と特徴を知り、照明の違いと光の特徴を生かしたメイクアップポイントを修得する。
9～10	メイクアップ色彩学①	パーソナルカラーを知る。シーズンカラーの分類を行い、特徴、似合うカラー、イメージワードを理解する。
11～12	メイクアップ色彩学②	シーズン別にイメージワード、似合うカラーを理解し、カラーメイクをする際に役立つ知識の習得する。
13～14	TPOに合わせたメイクアップ①	オフィス、パーティー、着物、ウェディングドレスの画像より、メイクアップカルテを作成する。
15～16	TPOに合わせたメイクアップ②,③	②オフィスメイクの特徴を修得し理解する。③パーティーメイクの特徴を修得し理解する。
17～18	TPOに合わせたメイクアップ④,⑤	④和装メイクの特徴を修得し理解する。⑤ウェディングドレスメイクの特徴を修得し理解する。
19～20	TPOに合わせたメイクアップ⑥	⑥TPOに合わせたメイクアップ②～④の総復習と苦手パーツの反復練習。
21～22	TPOに合わせたメイクアップ	パーティードレス（テーマ①）に合わせる時のメイクアップのポイント、注意点を理解し相モデルにてメイクアップの実践。
23～24	TPOに合わせたメイクアップ	パーティードレス（テーマ②）に合わせる時のメイクアップのポイント、注意点を理解し相モデルにてメイクアップの実践。

25～26	TPOに合わせたメイクアップ	パーティードレス（テーマ③）に合わせる時のメイクアップのポイント、注意点を理解し相モデルにてメイクアップの実践。
27～28	TPOに合わせたメイクアップ	パーティードレス（テーマ④）に合わせる時のメイクアップのポイント、注意点を理解し相モデルにてメイクアップの実践。
29～30	TPOに合わせたメイクアップ	TPOに合わせたメイクアップ(テーマ⑤)総復習と苦手パーツの反復練習。

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
ディプロム・マキアージュ・クレアティフ・アンテルナシオナル　アヴァンセレヴェル（Why Not　international creations)	学期末試験 提出物	70.0% 30.0%	アヴァンセテキストの予習復習。

作成者:今井　美穂

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティ実習Ⅱ （ＩＣＡＭエステ実習）		ビューティー総合学科/2年 エステ専攻	2025/前期	実習
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120単位時間)	選択	今井　美穂

授　業　の　概　要

エステティシャンとして働くために必要となる、お客様の身体・肌に合わせた施術・粧剤選択が出来、的確なアドバイスが出来る知識を修得し、ICAM国際ライセンスアドバンストレベル２取得を目指す。

授業終了時の到達目標

・フランス式フェイシャルの修得
・肌別フェイシャル工程の組み立てと技術提供
・身体状態に合わせたボディ施術の組み立てと技術提供
・各施術の禁忌が理解できる
・施術カルテが正しく記入出来、ホームイケアアドバイスが出来る

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、11年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

施術手順は復習し覚えてくること。予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

	テ　ー　マ	学修内容
1～4	ＩＣＡＭ国際ライセンスについて フランス式フェイシャル	ライセンス目的・全体の流れを理解し、今後の技術計画を立てる／フランス式フェイシャルの手順・目的を理解する
5～8	４肌別フェイシャルシートの作成 美容機器について	4肌別にフェイシャル工程の目的を理解し、使用化粧品と美容機器の特徴を理解し把握する
9～12	４肌別フェイシャルシートの作成 美容機器について	4肌別にフェイシャル工程の目的を理解し、使用化粧品と美容機器の特徴を理解し把握する
13～16	肌別手技 背面ボディ強化①下肢	4肌別にフェイシャル工程の目的を理解し、肌別手技と組み合わせを理解する／ボディの体重移動や姿勢の見直し
17～20	肌別手技　２コマずつに分かれる 背面ボディ強化①下肢	4肌別にフェイシャル工程の目的を理解し、肌別手技と組み合わせを理解する／ボディの体重移動や姿勢の見直し
21～24	ノーマル肌用フェイシャル施術	ノーマル肌用フェイシャル工程の理解が出来る
25～28	ノーマル肌用フェイシャル施術	ノーマル肌用フェイシャル工程の理解が出来る
29～32	オイリー肌用フェイシャル施術 背面ボディ強化②背部	オイリー肌用フェイシャル工程の理解が出来る ボディの体重移動や姿勢の見直し
33～36	オイリー肌用フェイシャル施術 背面ボディ強化②背部	オイリー肌用フェイシャル工程の理解が出来る ボディの体重移動や姿勢の見直し
37～40	ドライ肌用フェイシャル施術	ドライ肌用フェイシャル工程の理解が出来る
41～44	ドライ肌用フェイシャル施	ドライ肌用フェイシャル工程の理解が出来る
45～48	コンビネーション肌用フェイシャル	コンビネーション肌用フェイシャル工程の理解が出来る
49～52	コンビネーション肌用フェイシャル	コンビネーション肌用フェイシャル工程の理解が出来る

53～56	期末試験対策①	80分フェイシャル　文章課題例を参考に試験イメージ フェイシャルマッサージ強化
57～60	期末試験対策②	80分フェイシャル　文章課題例を参考に試験イメージ フェイシャルマッサージ強化

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	その他
ICAMボディテキスト ICAMフェイシャルテキスト ICAMベーシックテキスト	期末試験 身だしなみ・準備	90.0% 10.0%	

作成者:今井　美穂

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティ実習Ⅱ （ＩＣＡＭエステ実習）		ビューティー総合学科 2年/エステ専攻	2025/後期	実習
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	120回	8単位(240単位時間)	選択	今井　美穂

授　業　の　概　要

エステティシャンとして働くために必要となる、お客様の身体・肌に合わせた施術・粧剤選択が出来、的確なアドバイスが出来る知識を修得し、ICAM国際ライセンスアドバンストレベル２取得を目指す。

授業終了時の到達目標

・各技術の目的をお客様に説明出来る
・ホームケアアドバイスが出来る
・お客様の身体・肌の状態に合わせた施術組み立て、ご提案、粧剤選択が出来る
・一人のエステティシャンでフェイシャル・ボディ・メイク・ネイルの組み立てと施術が出来る

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、11年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

施術手順は復習し覚えてくること
カルテ、成分も覚える

回	テ　ー　マ	学修内容
1～4	期末試験振り返り カルテ記入	ボディチェックのポイント、4肌別トリートメント工程と目的、化粧品の成分の理解、ホームケアアドバイスをお伝え出来るカルテ作り
5～8	ボディチェック実践 ボディ施術強化①	ボディチェックの流れと目的を理解する／筋肉の位置 セルライトがついた状態・コリやハリがある状態を理解した施術が出来る
9～12	カルテ記入(課題発表前の完成)	ボディチェックのポイント、4肌別トリートメント工程と目的、化粧品の成分の理解、ホームケアアドバイスをお伝え出来るカルテ作り
13～16	ボディチェック実践 ボディ施術強化②	ボディチェックの流れと目的を理解する／筋肉の位置 筋肉がない状態・リンパの流れを理解した施術が出来る
17～20	ノーマル肌用フェイシャル施術	ノーマル肌の特徴を捉え施術でアプローチ出来る
21～24	オイリー肌用フェイシャル施術	オイリー肌の特徴を捉え施術でアプローチ出来る
25～28	ドライ肌用フェイシャル施術	ドライ肌の特徴を捉え施術でアプローチ出来る
29～32	コンビネーション肌用フェイシャル施術	コンビネーション肌の特徴を捉え施術でアプローチ出来る
33～36	課題に合わせたカルテ作り 課題に合わせたボディ施術強化③	課題発表に合わせ、肌別から課題モデルへとお客様意識を持ったカルテ作成／課題に寄り添ったボディ施術
37～40	課題に合わせたネイル・メイク B→F→N→Mへの転換確認	ネイルは赤ポリッシュを使用し、メイクはドレス課題に合わせて一連の流れを行うことが出来る
41～44	課題に合わせたカルテ作り 課題に合わせたボディ施術強化③	課題発表に合わせ、肌別から課題モデルへとお客様意識を持ったカルテ作成／課題に寄り添ったボディ施術

45～48	課題に合わせたネイル・メイク B→F→N→Mへの転換確認	ネイルは赤ポリッシュを使用し、メイクはドレス課題に合わせて一連の流れを行うことが出来る
49～52	通し練習／口頭試問対策 課題①ボディ・フェイシャル・アート課題	課題①に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来、正しいカルテ記入が出来る
53～56	通し練習／口頭試問対策 課題②ボディ・フェイシャル・アート課題	課題②に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来、正しいカルテ記入が出来る
57～60	通し練習／口頭試問対策 課題③ボディ・フェイシャル・アート課題	課題③に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来、正しいカルテ記入が出来る
61～64	通し練習／口頭試問対策 課題④ボディ・フェイシャル・アート課題	課題④に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来、正しいカルテ記入が出来る
65～68	卒業判定試験 (カルテ見ながら記入)	課題①に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来、正しいカルテ記入が出来る
69～72	卒業判定試験 (カルテ見ながら記入)	課題②に合わせた施術の組み立てを行い、時間配分・手技の目的・工程の目的・各禁忌の理解が出来、正しいカルテ記入が出来る
73～76	卒業判定試験反省点の見直し	試験官によるフィードバックを基に、今後の通し練習の課題を把握しレベルアップが出来るようになる
77～80	卒業判定試験反省点の見直し	同上
81～84	通し練習／口頭試問対策 課題①ボディ・フェイシャル・アート課題	前回の指摘事項を意識しレベルアップが出来るようになる アート課題①をメイク表現出来るようになる 課題①目的を施術中に説明出来るようになる
85～88	通し練習／口頭試問対策 課題②ボディ・フェイシャル・アート課題	前回の指摘事項を意識しレベルアップが出来るようになる アート課題②をメイク表現出来るようになる 課題②目的を施術中に説明出来るようになる
89～92	課題③ボディ・フェイシャル・アート課題	前回の指摘事項を意識しレベルアップが出来るようになる アート課題③をメイク表現出来るようになる 課題③目的を施術中に説明出来るようになる
93～96	課題④ボディ・フェイシャル・アート課題	前回の指摘事項を意識しレベルアップが出来るようになる アート課題④をメイク表現出来るようになる 課題④目的を施術中に説明出来るようになる
97～100	課題①ボディ・フェイシャル・アート課題	課題①に対して接客と同様な施術が出来、配慮のあるお声かけと目的の説明が出来るようになる 又、目的を理解し施術カルテの記入が出来る
101～104	課題②ボディ・フェイシャル・アート課題Lv.3	課題②に対して接客と同様な施術が出来、配慮のあるお声かけと目的の説明が出来るようになる 又、目的を理解し施術カルテの記入が出来る
105～108	課題③ボディ・フェイシャル・アート課題Lv.3	課題③に対して接客と同様な施術が出来、配慮のあるお声かけと目的の説明が出来るようになる 又、目的を理解し施術カルテの記入が出来る
109～112	課題④ボディ・フェイシャル・アート課題Lv.3	課題④に対して接客と同様な施術が出来、配慮のあるお声かけと目的の説明が出来るようになる 又、目的を理解し施術カルテの記入が出来る
113～116	模擬試験	時間・施術の正確さ・接客・カウンセリング・化粧品選定・施術組み立てを理解し美容マネジメントが出来る
117～120	模擬試験	時間・施術の正確さ・接客・カウンセリング・化粧品選定・施術組み立てを理解し美容マネジメントが出来る

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	その他

ICAMボディ技術課題①～④ ICAMフェイシャル技術課題①～④ ICAMアート課題①～④	期末試験	100.0%	

作成者:今井　美穂

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティ実習Ⅱ （エステ実習）		ビューティー総合学科 2年/エステ専攻	2025/前期	実習
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60単位時間)	必須	今井　美穂

授　業　の　概　要

エステティック技術である「痩身」施術で結果に導くことを学修する。そのために、生理解剖学・痩身理論・栄養指導・メンタルケア指導・顧客管理を行い長期の継続的効果を見出すための技術を学修する。

授業終了時の到達目標

・カウンセリングでモデルが太る原因の検証を行える
・太る原因に対しての施術・ホームケアアドバイス・メンタルケアが出来る
・痩せるメカニズムを理解出来る

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、11年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

授業内容で得たことを基にモデルの食事アドバイス・メンタルケアの管理

回	テ　ー　マ	学修内容
1～2	太る・痩せるの身体のメカニズム	太る原因を学修し、痩せるための手立てと方法を太り方別に理解する
3～4	痩身施術①背部	目的に応じた施術プランニングを行い正しい施術を行う
5～6	痩身施術②腹部	変化を見極め本日の施術プランニングと実践を行い目標に近づけるためのカウンセリングと施術を行う
7～8	痩身機器の理解と習得	各種痩身機器の特性を理解し、太り方別に機器を選定出来るようになる
9～10	痩身施術③二の腕	変化を見極め本日の施術プランニングと実践を行い目標に近づけるためのカウンセリングと施術を行う
11～12	カルテ記入と運動指導 カウンセリング実践とプランニング	カルテ記入の方法と目的を理解し実践を通し習得する、又体質別の適切な運動法を理解しアドバイスが出来る 相モデルにて太る原因検証と痩せるプランニングを行い知識と施術の組み立てが出来る
13～14	痩身施術④ 下腿部・背部・腹部・二の腕	変化を見極め本日の施術プランニングと実践を行い目標に近づけるためのカウンセリングと施術を行う
15～16	リフレクソロジー①	一斉学習前にエステ専攻がプレ履修し、サロン実務トレーニング時にサポートする
17～18	痩身施術⑤ 下腿部・背部・腹部・二の腕	変化を見極め本日の施術プランニングと実践を行い目標に近づけるためのカウンセリングと施術を行う
19～20	リフレクソロジー②	一斉学習前にエステ専攻がプレ履修し、サロン実務トレーニング時にサポートする
21～22	ワックス脱毛①	実習を通してハードワックスの技術習得を行い、特性とリスクを理解する
23～24	ワックス脱毛②	実習を通してハードワックスの技術習得を行い、特性とリスクを理解する
25～26	光脱毛①	機器使用法・禁忌・脱毛カウンセリング・毛髪判断基準を理解し、実習で技術を学ぶ
27～28	脱毛後の発毛確認 フォトフェイシャル	上記3種脱毛後の、肌・発毛の状態を検証し、用途の目的を理解する

29～30	期末試験対策	授業内容を振り返り、知識技術の習得度合いを確認する

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	その他
ベーシックエステティック学テキスト 低周波機器 痩身商材（アロマ・クリーム・ジェル等）	期末試験 身だしなみ・準備	90.0% 10.0%	

作成者:米澤　愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティ実習Ⅱ (ICAMメイク実習)		ビューティー総合学科/2年 メイク・ネイル専攻	2025/前期	実習
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60単位時間)	必須	高崎　千愛

授　業　の　概　要

・コスメティシャン、メイクアップアーティストとして求められるサービス（奉仕・貢献・世話）や、ホスピタルティ（思いやり・やさしさ・歓待）、マナーに関する基本を理解する。　・販売・接客スキルの基本的な流れを学び、基礎的理論の理解、フェイシャルやメイクの技術を取得した総合力を養う。

授業終了時の到達目標

・相手に合わせたスキンタイプ別の状態把握、イメージメイクアップ、メイクアップカルテの作成が出来る。・店頭、あるいはブランドの顔、アーティストとして店頭や現場に立つことを踏まえ、プロとしての意識を持つことや接客に取り組む姿勢の自覚を持つことが出来る。・ICAMコスメティック部門　コスメティシャンライセンスの取得が出来る。

実務経験有無	実務経験内容
有	美容部員として2年間メイクの仕事に従事する

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～2	・ICAMコスメティシャンライセンスとは… ・メイクアップの基礎理論① ・サービスマナーとホスピタリティマインド	スキンケアカウンセリングの際に求められるサービスやホスピタリティ、マナーに関する基本を理解する。
3～4	第一印象による満足と信頼	カウンセリングの目的と方法、スキンチェックの方法と考え方を理解する。
5～6	スキンケアカウンセリング①	美しい肌を作る因子、スキンタイプの特徴、スキンタイプ別状態把握、カウンセリングの方法を理解する。
7～8	スキンケアカウンセリング②	皮膚と化粧品、化粧品取扱いの注意について理解する。
9～10	スキンケアカウンセリング③	栄養素と皮膚の関係　肌の改善と食生活、サプリメントの活用について理解する。
11～12	メイクアップ基礎理論②	顔の理想的なバランス、パーツバランスと印象、輪郭と印象を理解し、ナチュラルメイクの実践。
13～14	メイクアップに必要な色彩基礎理論	イメージタイプ別カラーコーディネートを学修する。
15～16	ベーシックメイクアップ実践①	イメージメイクアップ(可愛い・キュート）のメイクの特徴を学修する。イメージメイク、メイクアップカルテ作成の実践。
17～18	ベーシックメイクアップ実践②	イメージメイクアップ（活動的・フレッシュ）のメイクの特徴を学修する。イメージメイク、メイクアップカルテの作成の実践。
19～20	ベーシックメイクアップ実践③	イメージメイクアップ（優雅・セクシー）のメイクの特徴を学修する。イメージメイク、メイクアップカルテの作成の実践。
21～22	ベーシックメイクアップ実践④	イメージメイクアップ（知的・クール）のメイクの特徴を学修する。イメージメイク、メイクアップカルテの作成の実践。
23～24	パーソナルカラーの基礎知識	シーズンカラー別パーソナルタイプによるメイクアップポイントを理解する。

25～26	カウンセリングセールステクニック	スキンチェックの復習。スキンケアカウンセリングの基本、接客の流れを理解する。
27～28	・カウンセリングメイクアップ ・クレンジング法	質感、ライティング、デザイン、バリエーションテクニックを理解する。コスメカウンターでのクレンジング方法を学び、実践。
29～30	メイクアップ実践①	乾燥肌のスキンケア方法を取り入れ、キュートなイメージに近づけたメイクアップ、カルテ制作を実践。

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
・ICAM国際ライセンス　コスメティシャンテキスト（カウンセリングセールス編）　【一般財団法人ICAM日本支部】 ・ICAM国際ライセンス　コスメティックテキスト（メイクアップカウンセリング編）　【一般財団法人　ICAM日本支部】	期末テスト	100.0%	各講義で実施した内容をノートやプリントを使って復習。各日、メイク練習ごに言われたアドバイスをノートに記録する。・メイクカルテ、スキンケアカウンセリングシートを各10症例を完成させる。

作成者:米澤　愛

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティ実習Ⅱ (ICAMメイク実習)		ビューティー総合学科/2年 メイク・ネイル専攻	2025/後期	実習
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120単位時間)	必須	高崎　千愛

授　業　の　概　要

・コスメティシャン、メイクアップアーティストとして求められるサービス（奉仕・貢献・世話）や、ホスピタルティ（思いやり・やさしさ・歓待）、マナーに関する基本を理解する。　・販売・接客スキルの基本的な流れを学び、基礎的理論の理解、フェイシャルやメイクの技術を取得した総合力を養う。

授業終了時の到達目標

・相手に合わせたスキンタイプ別の状態把握、イメージメイクアップ、メイクアップカルテの作成が出来る。・店頭、あるいはブランドの顔、アーティストとして店頭や現場に立つことを踏まえ、プロとしての意識を持つことや接客に取り組む姿勢の自覚を持つことが出来る。・ICAMコスメティック部門　コスメティシャンライセンスの取得が出来る。

実務経験有無	実務経験内容
有	美容部員として2年間メイクの仕事に従事する

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～4	メイクアップ実践②	普通肌のスキンケア方法を取り入れ、フレッシュなイメージに近づけたメイクアップ、カルテ制作を実践。
5～8	メイクアップ実践③	混合肌のスキンケア方法を取り入れ、セクシーなイメージに近づけたメイクアップ、カルテ制作を実践。
9～12	美容皮膚学	皮膚構造、化粧品の特性と分類を理解する。スキンケアアイテムの成分を調べ成分表の作成。
13～16	メイクアップ実践④	脂性肌のスキンケア方法を取り入れ、クールなイメージに近づけたメイクアップ、カルテ制作を実践。
17～20	ICAM実技見込判定試験	肌質やどのようなイメージのメイクが気になっているかをカウンセリングで捉え、クレンジング、スキンケア、メイクアップ、カルテ作成を規定の時間内で完成させる。
21～24	ICAM実技見込判定試験　復習と確認	見込み判定試験の結果より、それぞれの不得意分野の練習を行いブラッシュアップさせる。
25～28	メイクアップ実践⑤	それぞれの肌質に合わせたスキンケアアイテム（化粧水、美容液、乳液）の選定理由、使用アドバイス、テクニックを相手に伝えるためのトークポイントを学修する。
29～32	販売アプローチとセールストーク①	化粧品販売のアプローチ方法、セールストーク、ロールプレイングを取り入れた実践。
33～36	販売アプローチとセールストーク②	効果的なデモストレーション、トラブル別商品の提案を取り入れた実践。
37～40	メイクアップ実践⑥	相モデルのメイクアップの悩みや要望を聞き出し、アドバイスを入れながらワンポイントテクニックを取り入れたメイクアップの実践。
41～44	メイクアップ実践⑦	それぞれのシーン（カウンセリング、クレンジング、メイクアップ、カルテ作成）毎に気をつける会話、言葉の選び方、表情を意識し、通しで実践。
45～48	メイクアップ実践⑧	肌質の特徴、イメージメイクアップのポイントの総復習を行い、時間配分の調整を意識したメイクアップ実践。
49～52	ICAM実技試験対策①	試験リハーサル。肌質分析、モデルの顔分析、印象分析を行い、クレンジング、スキンケア、フルメイク、カルテ作成の実践。

53～56	ICAM実技試験対策②	前回リハーサルにおいて不足だった箇所、改善する必要がある箇所のアドバイスを行い、更に技術を高める。
57～60	ICAM実技試験対策③	試験リハーサルを行いトークや技術の最終確認。８０分内にカウンセリング、クレンジング、スキンケア、フルメイク、カルテ作成の実践。

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
・ICAMカウンセリングセールステキスト ・ICAMメイクアップカウンセリングテキスト	ICAM実技試験 ICAM筆記試験	50.0% 50.0%	各講義で実施した内容をノートやプリントを使って復習。各日、メイク練習ごに言われたアドバイスをノートに記録する。・メイクカルテ、スキンケアカウンセリングシートを各10症例を完成させる。

作成者:澤口　友里恵

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティ実習Ⅱ （メイク実習Ⅱ）		ビューティー総合学科/2年 メイク・ネイル専攻	2025/前期	講義・実習
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位（120単位時間）	選択	澤口　友里恵

授　業　の　概　要

メイクテーマに合わせたメイク設計とメイク表現が出来るような創造性とクリエイティブメイク技術の修得。全国の美容専門学生を対象としたメイクフォトコンテストに応募しクリエイティブメイクのスキルを高める。

授業終了時到達目標

オリジナリティのあるクリエイティブメイクが出来る
メイクコンセプトが設計できる
テーマに合わせたメイク表現がトータルで出来る

実務経験有無	実務経験内容
有	美容師・ヘアメイクスタイリストとし現場で17年間従事する

時間外に必要な学修

メイクテーマに合わせたメイクを創造し設計する

回	テ　ー　マ	学修内容
1～4	メイクフォトコン作品制作① テーマ１	クリエイティブメイクで使える技術修得
5～8	メイクフォトコン作品制作② テーマ１	テーマの理解、アイデア出し、フェイスチャート作成 必要小物の検討
9～12	メイクフォトコン作品制作③ テーマ１	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる
13～16	メイクフォトコン作品制作④ テーマ１	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる
17～20	フォトシューティング テーマ１	メイク撮影実習、写真アングルを踏まえどう作品を表現するか 考えカメラマンさんに伝えるコミュニケーション力を養う
21～24	メイクフォトコン作品制作① テーマ２	テーマの理解、アイデア出し、フェイスチャート作成 必要小物の検討
25～28	メイクフォトコン作品制作② テーマ２	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる
29～32	メイクフォトコン作品制作③ テーマ２	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる
33～40	フォトシューティング テーマ２	メイク撮影実習、写真アングルを踏まえどう作品を表現するか 考えカメラマンさんに伝えるコミュニケーション力を養う
41～48	メイクフォトコン作品制作① テーマ３	テーマの理解、アイデア出し、フェイスチャート作成 必要小物の検討
49～52	メイクフォトコン作品制作② テーマ３	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる
53～56	メイクフォトコン作品制作③ テーマ３	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる

57～60	フォトシューティング テーマ３	メイク撮影実習、写真アングルを踏まえどう作品を表現するか考えカメラマンさんに伝えるコミュニケーション力を養う

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
メイク実習教材一式 フェイスチャート	期末テスト 実習取組	70.0% 30.0%	普段の生活の中でもクリエイティブのヒントを得るよう意識する

作成者:澤口　友里恵

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティ実習Ⅱ （メイク実習Ⅱ）		ビューティー総合学科/2年 メイク・ネイル専攻	2025/後期	講義・実習
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60単位時間)	選択	澤口　友里恵

授　業　の　概　要

メイクテーマに合わせたメイク設計とメイク表現が出来るような創造性とクリエイティブメイク技術の修得。全国の美容専門学生を対象としたメイクフォトコンテストに応募しクリエイティブメイクのスキルを高める。

授業終了時到達目標

オリジナリティのあるクリエイティブメイクが出来る
メイクコンセプトが設計できる
テーマに合わせたメイク表現がトータルで出来る

実務経験有無	実務経験内容
有	美容師・ヘアメイクスタイリストとし現場で17年間従事する

時間外に必要な学修

メイクテーマに合わせたメイクを創造し設計する

回	テ　ー　マ	学修内容
1～2	メイクフォトコン作品制作① テーマ４	テーマの理解、アイデア出し、フェイスチャート作成 必要小物の検討
3～4	メイクフォトコン作品制作② テーマ４	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる
5～6	メイクフォトコン作品制作③ テーマ４	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる
7～8	フォトシューティング テーマ４	メイク撮影実習、写真アングルを踏まえどう作品を表現するか 考えカメラマンさんに伝えるコミュニケーション力を養う
9～10	卒業制作①	テーマに合わせたコンセプトを立てフェイスチャートに 表現する
11～12	卒業制作②	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる
13～14	卒業制作③	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる
15～16	卒業制作④	フォトシューティング①
17～18	卒業制作⑤	フォトシューティング②
19～20	クリエイティブメイク総まとめ①	テーマに合わせたコンセプトを立てフェイスチャートに 表現する
21～22	クリエイティブメイク総まとめ②	テーマに合わせたコンセプトを立てフェイスチャートに 表現する
23～24	クリエイティブメイク総まとめ③	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる

25～26	クリエイティブメイク総まとめ④	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる

27～28	クリエイティブメイク総まとめ⑤	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる
29～30	クリエイティブメイク総まとめ⑥	相モデルで創造したメイクを施し修正しクオリティを上げる

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
メイク実習教材一式 フェイスチャート	期末テスト 実習取組	70.0% 30.0%	普段の生活の中でもクリエイティブのヒントを得るよう意識する

作成者:北野　美菜

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティ実習Ⅱ （ネイル実習Ⅱ）		ビューティー総合学科/2年 メイク・ネイル専攻	2025/前期	講義・実習
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120単位時間)	選択	北野　美菜

授　業　の　概　要

・ジェルネイル初級・中級レベルの技術習得
・サロンワークネイルでの実施を通し、お客様のご要望にお応えできる知識・技術習得を目指す

授業終了時到達目標

・カウンセリングでお客様のご要望に沿えるご提案が出来る
・ジェルネイルワンカラー・シンプルデザイン・ニュアンスデザインが出来る
・ネイル商材の理解

実務経験有無	実務経験内容
有	ネイリストとして７年間ネイルサロンの実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～4	ジェルネイル1年次復習・現在のレベル確認	サロンワークジェルネイル技術の技術確認。技術不足部分の洗い出しと計画立て
5～8	フットネイル基礎理論・技術　（1年次の復習も含む）	足のトラブルについて、爪や皮膚の病気についての修得・フットジェルの注意事項と巻き爪のメカニズム・対処法を実践を交えて理解する
9～12	ネイル基礎理論①／ジェルネイルオフのやり方と種類の違い	マシーン理論・オフ時間の管理・爪のバリア機能の仕組みを理解する・アセトンオフ・フィルインの目的別技術修得
13～16	ネイル基礎理論②／サロンワークジェルネイル①	化粧品学の知識・色彩理論・ジェルネイル材料や特性を理解し修得する／グラデーションネイルの技術修得・様々なグラデーションネイルの技術修得
17～20	ネイル基礎理論②／サロンワークジェルネイル②	衛生管理と消毒法の理解と実務での方法の修得／フレンチネイルの技術修得・様々なフレンチネイルの技術修得
21～24	ネイル基礎理論③／アートの提案法・バランスの法則	皮膚科学・生理解剖学について理解し修得する／色の相性を理解しアートの提案・バランスの良い配置などのアートバランスの基礎を理解する
25～28	ジェルにネイル基礎理論①／サロンワークジェルネイル③	ジェルネイル用語・ジェルネイル衛生管理・病気／基本のアート(丸・直線・カーブ・細さ・太さ・筆圧）の書き方を理解し実践する
29～32	ジェルにネイル基礎理論②／サロンワークジェルネイル④	サロンワークでの起こりうる技術トラブルの対応技術の修得／基本のアート（２色・３色のマーブル・タイダイ柄・大理石）の書き方を理解し実践する
33～40	サロンワークジェルネイル⑤⑥	カウンセリング～デザイン決めまでの接客に重点を置いてサロンワークの流れで技術提供を実践する（デザイン①）
41～48	サロンワークジェルネイル⑦⑧	カウンセリング～デザイン決めまでの接客に重点を置いてサロンワークの流れで技術提供を実践する（デザイン②）
49～52	制作デザインネイル①	デザインテーマに沿ったデザインを製作しデザイン構築と表現力を養う
53～56	制作デザインネイル②	デザインテーマに沿ったデザインを製作しデザイン構築と表現力を養う

57～60	前期のおさらいと後期学習に向けての取り組みについて	これまでの総合的な復習と後期に向けて取り組む技法を把握し自分の強化点の総合理解

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
NPO法人日本ネイリスト協会（JNA)発行 テクニカルシステム	期末テスト 実習デザイン・制作アート 実習・実技評価	70.0% 20.0% 10.0%	各講義で実施した内容を教材などを使用して練習・復習すること

作成者:北野　美菜

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティ実習Ⅱ （ネイル実習Ⅱ）		ビューティー総合学科/2年 メイク・ネイル専攻	2025/前期	講義・実習
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120単位時間)	選択	北野　美菜

授　業　の　概　要

・ジェルネイル初級・中級レベルの技術習得
・サロンワークネイルでの実施を通し、お客様のご要望にお応えできる知識・技術習得を目指す

授業終了時到達目標

・カウンセリングでお客様のご要望に沿えるご提案が出来る
・ジェルネイルワンカラー・シンプルデザイン・ニュアンスデザインが出来る
・ネイル商材の理解

実務経験有無	実務経験内容
有	ネイリストとして７年間ネイルサロンの実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～4	ジェルネイル1年次復習・現在のレベル確認	サロンワークジェルネイル技術の技術確認。技術不足部分の洗い出しと計画立て
5～8	フットネイル基礎理論・技術　（1年次の復習も含む）	足のトラブルについて、爪や皮膚の病気についての修得・フットジェルの注意事項と巻き爪のメカニズム・対処法を実践を交えて理解する
9～12	ネイル基礎理論①／ジェルネイルオフのやり方と種類の違い	マシーン理論・オフ時間の管理・爪のバリア機能の仕組みを理解する・アセトンオフ・フィルインの目的別技術修得
13～16	ネイル基礎理論②／サロンワークジェルネイル①	化粧品学の知識・色彩理論・ジェルネイル材料や特性を理解し修得する／グラデーションネイルの技術修得・様々なグラデーションネイルの技術修得
17～20	ネイル基礎理論②／サロンワークジェルネイル②	衛生管理と消毒法の理解と実務での方法の修得／フレンチネイルの技術修得・様々なフレンチネイルの技術修得
21～24	ネイル基礎理論③／アートの提案法・バランスの法則	皮膚科学・生理解剖学について理解し修得する／色の相性を理解しアートの提案・バランスの良い配置などのアートバランスの基礎を理解する
25～28	ジェルにネイル基礎理論①／サロンワークジェルネイル③	ジェルネイル用語・ジェルネイル衛生管理・病気／基本のアート(丸・直線・カーブ・細さ・太さ・筆圧）の書き方を理解し実践する
29～32	ジェルにネイル基礎理論②／サロンワークジェルネイル④	サロンワークでの起こりうる技術トラブルの対応技術の修得／基本のアート（２色・３色のマーブル・タイダイ柄・大理石）の書き方を理解し実践する
33～40	サロンワークジェルネイル⑤⑥	カウンセリング～デザイン決めまでの接客に重点を置いてサロンワークの流れで技術提供を実践する（デザイン①）
41～48	サロンワークジェルネイル⑦⑧	カウンセリング～デザイン決めまでの接客に重点を置いてサロンワークの流れで技術提供を実践する（デザイン②）
49～52	制作デザインネイル①	デザインテーマに沿ったデザインを製作しデザイン構築と表現力を養う
53～56	制作デザインネイル②	デザインテーマに沿ったデザインを製作しデザイン構築と表現力を養う
57～60	前期のおさらいと後期学習に向けての取り組みについて	これまでの総合的な復習と後期に向けて取り組む技法を把握し自分の強化点の総合理解

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
NPO法人日本ネイリスト協会（JNA)発行 テクニカルシステム	期末テスト 実習デザイン・制作アート 実習・実技評価	70.0% 20.0% 10.0%	各講義で実施した内容を教材などを使用して練習・復習すること

作成者:北野　美菜

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビューティ実習Ⅱ （ネイル実習Ⅱ）		ビューティー総合学科2年 （メイク・ネイル専攻）	2025/後期	講義・実習
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120単位時間)	選択	北野　美菜

授　業　の　概　要

・ジェルネイル中級レベルの技術習得
・ジェル検定試験においての基礎知識(接客・カウンセリングが必要なサロンワークと接客のいらない試験の違いを理解することによりネイリストとしての)基盤を習得・確立する

授業終了時到達目標

試験合格を目指し目標を持つことでより基礎が明確になり理解できる
サロンワークにおいてお客様に提供する技術向上の基礎となり活かされる
接客・カウンセリングの重要性を理解しサロン実践において提供する幅が広がる事を実感できる

実務経験有無	実務経験内容
有	ネイリストとして７年間ネイルサロンの実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～4	コンテストアート制作①	コンテストデザインテーマに沿ったデザインを製作しデザイン構築と表現力を養う
5～8	コンテストアート制作②	コンテストデザインテーマに沿ったデザインを製作しデザイン構築と表現力を養う
9～12	コンテストアート制作③	コンテストデザインテーマに沿ったデザインを製作しデザイン構築と表現力を養う
13～16	コンテストアート制作④　（写真撮影＆背景制作）	コンテストデザインテーマに沿ったデザインを製作しデザイン構築と表現力を養う
17～32	卒業アート製作①	保護者感謝会向けにメイクとテーマに沿ったデザインを製作しデザイン構築と表現力を養う
33～36	卒業アート製作②	保護者感謝会向けにメイクとテーマに沿ったデザインを製作しデザイン構築と表現力を養う
37～40	卒業アート製作③	保護者感謝会向けにメイクとテーマに沿ったデザインを製作しデザイン構築と表現力を養う
41～44	ジェルスカルプチュア基礎理論	フォーム装着・ジェルネイルでのスカルプチュア技術の修得（アクリルとの違いを理解する）
45～48	アクリルスカルプチュア基礎理論	フォーム装着・アクリルネイルでのスカルプチュア技術の修得（ジェルとの違いを理解する）
49～52	期末アート製作①	テーマに沿ったデザインをチップに製作しデザイン構築と表現力を養う
53～56	期末アート製作②	各自テーマに沿ったデザインをチップに製作しデザイン構築と表現力を養う
57～60	総合まとめ	これまでの総合的な復習と自分の強化点の総合理解

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
NPO法人日本ネイリスト協会（JNA)発行 テクニカルシステム	制作アートチップ 卒業アートチップ 期末試験	20.0% 20.0% 60.0%	各講義で実施した内容を教材などを使用して練習・復習すること

作成者:今井　美穂

科　目　名	学科／学年	年度／時期	授業形態
総合演習	ビューティー総合学科 2年	2025/前期	講義

授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	今井　美穂

授　業　の　概　要

教員による講義だけではなく質問や議論のやりとり、グループワークによって進行し、教員と学生、学生同士が参加しながら学び、自主的に考え、調べ、議論し物事を具現化することができる

到達目標

・事前の情報説明や具体例紹介をベースに学生の主体的・能動的な活動を実現する
・個人の演技技術の向上、チーム統一の他、指導者観点から伝えていくことの方法論やその難しさの理解など
　様々な側面を身に付けること。
・反復演習を活かし、検定課題と向き合うことで合格率を上げる

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、11年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

授業内で完成しなかった課題は完成させ提出する

回	テ　ー　マ	学修内容
1	体育祭 学年交流会	体育祭実行委員、出場種目 学年交流会の内容、運営方法、役割決め
2	BL準備①	チーム分け、役割決め(R・サブR・会計・音楽・映像) テーマ決め
3	４月：全体サロンミーティング	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う：ご褒美
4	BL準備②	内容詰め、ステージ構成と照明リクエスト 台本作成とプレゼン準備
5	BL準備③	プレゼン修正 場当たり準備①　大枠のフォーメーション
6	BL準備④／店販促進	必要備品、準備物洗い出し 衣装案、メイク案
7	５月：全体サロンミーティング	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う：SNS発信
8	BL準備⑤	１年顔合わせとチームテーマ共有 １年役割決め、LINEグループ作成、放課後演習日決め
9	BL準備⑥	必要備品、準備物洗い出し 衣装案、メイク案
１０	公開授業準備	展示物作成など
１１	６月：全体サロンミーティング	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う：SNS発信
１２	BL準備⑦	ヘアメイク演習、衣装作成 場当たり準備②　全体の動き
１３	BL準備⑧	ヘアメイク演習、衣装作成 場当たり準備③　音楽と合わせる
１４	BL準備⑨	ヘアメイク演習、衣装作成 場当たり準備④　リハ用仕上げ
１５	７月：全体サロンミーティング (半期の成果)	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
	期末試験(サロンMG) 行事貢献 授業意欲(態度・出席)	50.0% 30.0% 20.0%	授業内で完成しなかった課題は完成させ提出する

作成者:今井　美穂

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
総合演習		ビューティー総合学科 2年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	今井　美穂

授　業　の　概　要

教員による講義だけではなく質問や議論のやりとり、グループワークによって進行し、教員と学生、学生同士が参加しながら学び、自主的に考え、調べ、議論し物事を具現化することができる

到達目標

・事前の情報説明や具体例紹介をベースに学生の主体的・能動的な活動を実現する
・個人の演技技術の向上、チーム統一の他、指導者観点から伝えていくことの方法論やその難しさの理解など
　様々な側面を身に付けること。
・反復演習を活かし、検定課題と向き合うことで合格率を上げる

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、11年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

授業内で完成しなかった課題は完成させ提出する

回	テ　ー　マ	学修内容
1	DMCI検定対策／センター試験対策	ボード作成、プレゼン考案 センター試験過去問解答
2	DMCI検定対策／センター試験対策	ボード作成、プレゼン考案 センター試験過去問解答　／SNS発信
3	8.9.10月：全体サロンミーティング	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う
4	11月ジェルネイル中級 脱毛検定試験	ジェルネイル過去問解答 脱毛検定テキスト問題集解答
5	卒業判定試験 保護者感謝会準備　ネイル2級	ジェルネイル過去問解答 脱毛検定テキスト問題集解答
6	12月キャンペーンの立案	1年間お世話になったお客様への還元目的でキャンペーンを考え計画する
7	11月：全体サロンミーティング	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う
8	12月キャンペーンの準備	接客力を上げるために、日頃の振返りと今後の改善点を洗い出し、全員で共有する　１年に引き継ぐ
9	お客様感謝会準備	AERにご来店下さり育ててくださったお客様への 感謝会企画と準備
１０	接客力向上	接客力を上げるために、日頃の振返りと今後の改善点を洗い出し、全員で共有する　１年に引き継ぐ
１１	12月：全体サロンミーティング	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う
１２	サロン引継ぎの計画	1年生にサロンを引き継ぐにあたり、内容の抽出
１３	サロン引継ぎ会	1年生に向け、さらにサロンのレベルアップを目標に課題と成果を伝え、AER勤務の楽しさと自己成長を伝える
１４	1年のまとめ・振返り	年間結果集計し成果報告、課題抽出、自分の成長、社会に出た際の自分の課題、目標発表を考える
１５	総まとめの発表	期末試験とし発表内容を点数化する

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
サロン実務での売上実績を参考	サロン目標達成率 期末試験(まとめ課題) 検定申込／合否	30.0% 50.0% 20.0%	サロンワーク実務Ⅱ

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
	期末試験(サロンMG) 行事貢献 授業意欲(態度・出席)	50.0% 30.0% 20.0%	授業内で完成しなかった課題は完成させ提出する

作成者:今井　美穂

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
総合演習		ビューティー総合学科 2年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	今井　美穂

授　業　の　概　要

教員による講義だけではなく質問や議論のやりとり、グループワークによって進行し、教員と学生、学生同士が参加しながら学び、自主的に考え、調べ、議論し物事を具現化することができる

到達目標

・事前の情報説明や具体例紹介をベースに学生の主体的・能動的な活動を実現する
・個人の演技技術の向上、チーム統一の他、指導者観点から伝えていくことの方法論やその難しさの理解など
　様々な側面を身に付けること。
・反復演習を活かし、検定課題と向き合うことで合格率を上げる

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、11年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

授業内で完成しなかった課題は完成させ提出する

回	テ　ー　マ	学修内容
1	DMCI検定対策／センター試験対策	ボード作成、プレゼン考案 センター試験過去問解答
2	DMCI検定対策／センター試験対策	ボード作成、プレゼン考案 センター試験過去問解答　／SNS発信
3	8.9.10月：全体サロンミーティング	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う
4	11月ジェルネイル中級 脱毛検定試験	ジェルネイル過去問解答 脱毛検定テキスト問題集解答
5	卒業判定試験 保護者感謝会準備　ネイル2級	ジェルネイル過去問解答 脱毛検定テキスト問題集解答
6	12月キャンペーンの立案	1年間お世話になったお客様への還元目的でキャンペーンを考え計画する
7	11月：全体サロンミーティング	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う
8	12月キャンペーンの準備	接客力を上げるために、日頃の振返りと今後の改善点を洗い出し、全員で共有する　１年に引き継ぐ
9	お客様感謝会準備	AERにご来店下さり育ててくださったお客様への 感謝会企画と準備
１０	接客力向上	接客力を上げるために、日頃の振返りと今後の改善点を洗い出し、全員で共有する　１年に引き継ぐ
１１	12月：全体サロンミーティング	数字の結果を踏まえて次月の目標立てを行う 改善点の洗い出し、結果に対しての分析を行う
１２	サロン引継ぎの計画	1年生にサロンを引き継ぐにあたり、内容の抽出
１３	サロン引継ぎ会	1年生に向け、さらにサロンのレベルアップを目標に課題と成果を伝え、AER勤務の楽しさと自己成長を伝える
１４	1年のまとめ・振返り	年間結果集計し成果報告、課題抽出、自分の成長、社会に出た際の自分の課題、目標発表を考える

１５	総まとめの発表	期末試験とし発表内容を点数化する

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
サロン実務での売上実績を参考	サロン目標達成率 期末試験(まとめ課題) 検定申込／合否	30.0% 50.0% 20.0%	サロンワーク実務Ⅱ

作成者:今井　美穂

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
サロンワーク実務Ⅱ		ビューティー総合学科/2年	2025/前期	実習
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120単位時間)	必須	渡邊　ゆりか

授　業　の　概　要

実店舗サロン研修「AER」にて、接客・施術（ネイル・エステ・化粧品販売）を行い、接客力・技術応用力・販売力を持ち備えたエステティシャン・コスメティシャン・ネイリストを目指し実践力を身に付ける

授業終了時の到達目標

・サロン接客が出来る
・個々に合わせた施術提案と施術が出来る
・集客が出来る
・化粧品販売が出来る
・ホームケアアドバイスが出来る
・チームで成果を出すことが出来る

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、6年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～4	技術の強化①	各施術メニューの達成度を図り改善点を克服する
5～8		
9～12	接客の強化①	カウンセリングシートを基にビフォー・アフターカウンセリングの強化を行う
13～16		カウンセリングを強化し、提案力スキルを上達させる
17～20	化粧品販売の開始	化粧品の特性を理解し、お客様の肌トラブルに合わせて、基礎化粧品のご提案を行い化粧品販売に繋げる
21～24	技術の強化②	各施術メニューの達成度を図り改善点を克服する
25～28		
29～32	接客の強化②	施術中の会話の楽しみ方を修得する （会話の広げ方）
33～36		情報収集を基に来店リピートに繋げる提案力を上達させる
37～40	新メニュー販売促進 新メニュー技術トレーニング	新メニューのアピールポイントを理解し、ご提案と説明が出来る 新メニューの販促物作成とSNS発信 全員がメニュー習得(エステ：足つぼ／ネイル：デザイン)
41～44		
45～48		
49～52	技術の強化③	各施術メニューの達成度を図り改善点を克服する
53～56		
57～60	接客の強化②	施術中の会話の楽しみ方を修得する （会話の広げ方）
61～64		情報収集を基に来店リピートに繋げる提案力を上達させる
65～69	顧客満足度調査	外部評価を受け改善点を実務で実践し情報の共有と意識の確認を行う

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	その他
エステティック実技テキスト（ボディ編）（ICAM日本支部　発行） JNAテクニカルシステムベーシック改正版（NPO法人日本ネイリスト協会　教育委員会） エステティック実技テキスト（フェイシャル編）（ICAM日本支部　発行）	サロン研修評価表 身だしなみ 授業態度	70.0% 20.0% 10.0%	不足部分はロープレや相モデルを通し自主的に改善に努める

作成者:今井　美穂

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
サロンワーク実務Ⅱ		ビューティー総合学科/2年	2025/後期	実習
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120単位時間)	必須	渡邊　ゆりか

授　業　の　概　要

実店舗サロン研修「AER」にて、接客・施術（ネイル・エステ・化粧品販売）を行い、接客力・技術応用力・販売力を持ち備えたエステティシャン・コスメティシャン・ネイリストを目指し実践力を身に付ける

授業終了時の到達目標

・サロン接客が出来る
・個々に合わせた施術提案と施術が出来る
・集客が出来る
・化粧品販売が出来る
・ホームケアアドバイスが出来る
・チームで成果を出すことが出来る

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、6年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テ　ー　マ	学修内容
1～4	1年生のカリキュラム共有	1年生が接客に専念できるようにアシスタント業務を行いながら不足部分を指導し育てるためには
5～8	お出迎え・承諾書	マニュアル共有とロープレ指導を行う
9～12	クイックマッサージモデル／技術の強化	サロンメニューのモデルとなり、圧加減や手順の指導を行う／各施術メニューの習熟
13～16	ハンドネイルモデル／技術の強化	サロンメニューのモデルとなり、圧加減や手順の指導を行う／各施術メニューの習熟
17～20	クイックマッサージモデル／技術の強化	サロンメニューのモデルとなり、圧加減や手順の指導を行う／各施術メニューの習熟
21～24	ハンドネイルモデル／技術の強化	サロンメニューのモデルとなり、圧加減や手順の指導を行う／各施術メニューの習熟
25～28	ハンドマッサージモデル／技術の強化	サロンメニューのモデルとなり、圧加減や手順の指導を行う／各施術メニューの習熟
29～32	ヘッドマッサージモデル／技術の強化	サロンメニューのモデルとなり、圧加減や手順の指導を行う／各施術メニューの習熟
33～36	ハンドネイルモデル／技術の強化	サロンメニューのモデルとなり、圧加減や手順の指導を行う／各施術メニューの習熟
37～40	クイックマッサージモデル／技術の強化	サロンメニューのモデルとなり、圧加減や手順の指導を行う／各施術メニューの習熟
41～44	ヘッド・ハンドマッサージモデル／技術の強化	サロンメニューのモデルとなり、圧加減や手順の指導を行う／各施術メニューの習熟
45	ヘッド・ハンドマッサージモデル／技術の強化	サロンメニューのモデルとなり、圧加減や手順の指導を行う／各施術メニューの習熟

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	その他
エステティック実技テキスト（ボディ編）（ICAM日本支部　発行） JNAテクニカルシステムベーシック改正版（NPO法人日本ネイリスト協会　教育委員会） エステティック実技テキスト（フェイシャル編）（ICAM日本支部　発行）	サロン研修評価表 身だしなみ 授業態度・1年生への指導	70.0% 20.0% 10.0%	不足部分はロープレや相モデルを通し自主的に改善に努める

作成者:今井　美穂

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
キャリア・ デペロップメントⅡ		ビューティー総合学科 2年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位/授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30単位時間)	必須	今井　美穂

授　業　の　概　要

社会人として必要とされるビジネスマナー、仕事への考え方、働く意義を学習することで、就職活動を円滑にし内定獲得を目指す／即戦力となる社会人基礎力の応用を習得する

到達目標

・自己PR,志望動機が書け、相手に伝わるように話せるようになる
・グループディスカッション、集団面接、個人面接対応が出来る
・商品プレゼンが出来る
・一般常識、ビジネスマナーが身に付き働くことに前向きになる
・業界の現状を知り、今後の展望・課題を検討する

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、11年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

時間外に必要な学修

授業内で完成しなかった課題は完成させ提出する
個別で面接練習は行うこと

回	テ　ー　マ	学修内容
1	就職活動の振返りと今後の計画 面接ブックP122	改善に向けての行動計画が出来準備する。今後の就活計画書の作成、内定者の事例報告で情報をシェアする
2	問い合わせメールやり取り方法 企業へ電話でのやり取り法	メールのルール・電話やり取りルールを把握し、 企業との連絡を想定し実践出来る
3	内定したら	内定通知、内定承諾書、内定証明書など各書類について 内定先への令状、入社までの過ごし方
4	グループディスカッション (志望職種別グループ分けとテーマ)	テーマを設けディスカッションを行い、表現力、協調性、コミュニケーション能力を発揮することが出来る
5	1分間スピーチ 自己PR(内定者サポート)	スピーチ力に必要なことを知り簡潔に相手に伝える方法を理解し話を組み立て話すことが出来る
6	メールやり取り方法 電話でのやり取り法	メールのルール・電話やり取りルールを把握し、 企業との連絡を想定し実践出来る
7	筆記試験の種類と心構え	適性検査(SPI)対策
8	ビジネスマナー① 人財になろう　P16.17	社会人に必要な５つのマインド AERでの過ごし方と関連つけた学習
9	ビジネスマナー② なぜビジネスマナーが必要かP18-21	社会での自分を守る武器になる、人間関係を円滑にする　　仕事をスムーズにすることを学びAERで実践する
１０	ビジネスマナー③ ルールとマナーの違いP22-23,56-59	ルール、マナー、モラルについて認識を深め 集団社会の中で共生することを学びAERで実践する
１１	ビジネスマナー④ 仕事の取り組み方 P24-25,60-69	与えられた仕事に対しての取り組み方、自分ができることを考える。「知っている」と「できる」の違いを知る
１２	ビジネスマナー⑤ メンタルを強くする P26-29,70-75	上司やお客様からのフィードバックについて学ぶ。 対応と考え方。
１３	ビジネスマナー⑥ キャリアプランを考える　P30-31	将来のなりたい自分のイメージ作り 企業のHPを基に具体的なステップ作成
１４	ビジネスマナー⑦ 自分に合う仕事とは	学生時の自分の特性と、働く環境における自分の特性 好き嫌いの感情と寄り添う気持ちの考え方
１５	期末試験対策	試験範囲共有、対策プリント

教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
面接対策＆ビジネスマナー 女性のビジネスマナーパーフェクトブック （ナツメ社）	期末試験(社会基礎) 提出物 授業態度 試験は社会に出てから役立つ内容	80.0% 10.0% 10.0%	授業内で完成しなかった課題は完成させ提出する 個別で面接練習は行うこと